

特定非営利活動法人 ISTA 平成 20 年度 ・ 21 年度  
事業計画書、予算収支計算書

平成 20 年度事業計画書	1
平成 20 年度予算収支計算書	4
平成 21 年度事業計画書	6
平成 21 年度予算収支計算書	9

平成20年度事業計画書  
平成20年4月1日から平成21年3月31日まで  
特定非営利活動法人 科学芸術学際研究所 ISTA

1. 事業実施の方針

設立5年目である当年度は、小中高校正の体験学習、ワークショップ、大学生、社会人を対象とした市民講座のほか、基礎科学研究、学際研究、芸術創作活動などを推進し、成果を学会、講演会、展覧会などを通して、市民の評価を受け、幅広い国民各層に根を下ろした学術・文化の基礎を築くための事業計画を実施する。

2. 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	(1) 基礎研究支援、科学・芸術共同作業推進
事業内容	学術・芸術文化の向上を目的にした学際的な基礎研究、技術開発とそのアーティスト。研究者・技術者支援。カオスモス展示
実施予定日	平成20年9月7日～23日
実施予定場所	はまぎんこども宇宙科学館
従事者の予定人数	8名
受益対象者の範囲及び予定人数	500～600名（展覧会でのカタログ配布）
支出見込額	321,000円

事業名	(2) 学際協力「ものづくり」技術開発
事業内容	理化学研究所との共同研究により、正多面体・準正多面体・ゾーン多面体の積層造形モデル試作、放散虫の拡大モデル試作、その他数学曲面モデル、3Dエッセチャーモデルなどを試作。
実施予定日	平成20年4月～平成21年3月
実施予定場所	当事務所、理化学研究所（共同研究契約）
従事者の予定人数	2名
受益対象者の範囲及び予定人数	不特定多数
支出見込額	550,000円

事業名	(3) 研究成果の市民還元
事業内容	サイエンスアゴラにおいてワークショップとこれにリンクして「ものづくり」の成果の展示を行い、サイエンスアートの概念を広める。
実施予定日	平成20年11月下旬 サイエンスアゴラ展示とワークショップ（台場） 平成20年12月上旬 「サイエンティフィックアートの世界」展および展覧会にリンクしたワークショップ開催。（朝霞）
実施予定場所	科学未来館、国際交流会館、朝霞中央公民館ギャラリー
従事者の予定人数	生涯学習体験フェア展覧会・ワークショップ：4名
受益対象者の範囲及び予定人数	展覧会：約200名、ワークショップ：約60名
支出見込額	50,000円

事業名	(4) 「まちづくり」の推進
事業内容	「ものづくり」で制作された作品を使って体験学習、ワークショップ、展覧会を行い、生涯学習の環境を整備する。展覧会は地域で巡回展を行い、ISTA 朝霞市博物館—東洋大学などと連携して科学と芸術の文化の特色ある「まちづくり」を行う。
実施予定日	ISTA サロン例会：平成20年9月～12月、 展覧会：平成20年12月上旬2日間
実施予定場所	例会：当事務所、ISTA サロン例会 展覧会：朝霞中央公民館1階ギャラリー
従事者の予定人数	例会：8名、展覧会：7名
受益対象者の範囲及び予定人数	不特定多数
支出見込額	30,000円

事業名	(6) ホームページ、会報編集などの広報
事業内容	科学・芸術文化の総合情報誌 ISTA 会報の創刊。 ISTA ホームページの改良を行う。
実施予定日	平成20年9月、創刊予定。
実施予定場所	当事務所
従事者の予定人数	10名
受益対象者の範囲及び予定人数	500～600名
支出見込額	100,000円

事業名	(7) 国際協力
事業内容	国内外の研究者、NPO 活動家の招聘などを行い、市民レベルからの学術研究推進の必要性の啓蒙・支援活動を行う。
実施予定日	平成20年8月23～31日 国際結晶学連合国際会議、論文発表
実施予定場所	大阪国際会議場
従事者の予定人数	2名
受益対象者の範囲及び予定人数	約2000名
支出見込額	0 (他機関の研究費より支給)

事業名	(8) 科学・芸術を組み合わせた体験学習
事業内容	小中高校生の体験学習、ワークショップなどを通して、自然の仕組み、造形美の仕組み、実験、アートワークなど造形によって学び、基礎的学力、判断力、創造力を養う。
実施予定日	はまぎん子ども宇宙科学館：平成20年9月7日～9月23日 朝霞市博物館：7月26日、新座児童館：12月中旬
実施予定場所	はまぎん子ども宇宙科学館（9月）、新座市児童館（12月）、朝霞市博物館（7月）、朝霞市中央公民館（12月）
従事者の予定人数	朝霞市博物館：5名、新座児童館：5名、朝霞市中央公民館：5名
受益対象者の範囲及び予定人数	約50名（はまぎん子ども宇宙科学館 240名、朝霞市博物館：20名、新座市児童館：15名）
支出見込額	216,000円

事業名	(9) (1) から (8) に掲げる活動を行う団体活動場所提供などの 援助
事業内容	市民講座など各種講習会・講演会開催、サイエンスアゴラ、はまぎん こども宇宙科学館の展示・ワークショップ準備、朝霞市博物館夏休み 体験学習教室ワークショップ準備
実施予定日	通年
実施予定場所	ISTA 事務所
従事者の予定人数	延べ人数 6名
受益対象者の 範囲及び予定人数	約50名 ( ISTA 会員、 ISTA サロン講師、市民 )
支出見込額	900,000 円

平成20年度 特定非営利活動に係る事業会計収支予算書

平成20年4月1日から平成21年3月31日まで

特定非営利活動法人 科学芸術学際研究所 ISTA

科 目	予算額 (右欄は小計)		合 計
I 収入の部			
1 入会金収入			
正会員 (個人)	25,000		
正会員 (団体)	-		
学生会員	-		
		25,000	
2 会費収入			
正会員 (個人)	120,000		
正会員 (団体)	-		
学生会員	-		
賛助会員 (個人)	20,000		
賛助会員 (団体)			
		140,000	
3 事業収入			
特定非営利活動に係る事業			
(1) 基礎研究支援、科学・芸術共同作業推進	100,000		
(2) 学際協力「ものづくり」技術開発	250,000		
(3) 研究成果の市民還元	40,000		
(4) 「まちづくり」の推進	50,000		
(6) ホームページ、会報編集などの広報	50,000		
(8) 科学・芸術を組み合わせた体験学習	50,000		
		540,000	
4 短期借入金	1,000,000		
		1,000,000	
5 寄付金収入	2,500,000		
		2,500,000	
6 雑収入	60,000		
		60,000	
当期収入合計 (A)			4,265,000
前期繰越金			270,693
収入合計 (B)			4,535,693

Ⅱ 支出の部			
1 事業費			
(1) 学術・芸術文化の向上を目的にした支援活動	321,000		
(2) 学際協力「ものづくり」技術開発	550,000		
(3) 研究成果の市民還元	50,000		
(4) 「まちづくり」の推進	30,000		
(6) ホームページ、会報編集などの広報	100,000		
(8) 科学・芸術を組み合わせた体験学習	216,000		
(9) 前各号に掲げる活動を行う団体活動場所提供などの援助	900,000		
		2,167,000	
2 管理費			
光熱費	60,000		
事務人件費	100,000		
通信費	80,000		
消耗品費	50,000		
旅費交通費	150,000		
会議費	50,000		
		490,000	
3 寄付金			
4 雑費	10,000		
		10,000	
5 外部団体会員費	3,000		
		3,000	
6 予備費	0		
		0	
7 短期借入金返済	1,370,000		
		1,370,000	
当期支出合計 (C)			4,040,000
当期収支差額 (A) - (C)			225,000
次期繰越金 (B) - (C)			495,693

平成21年度事業計画書

平成21年4月1日から平成22年3月31日まで

特定非営利活動法人 科学芸術学際研究所 ISTA

1. 事業実施の方針

設立6年目である当年度は、昨年に引き続き、小中高校生の体験学習、ワークショップ、大学生、社会人を対象とした市民講座のほか、基礎科学研究、学際研究、芸術創作活動などを推進し、成果を学会、講演会、展覧会などを通して、市民の評価を受け、幅広い国民各層に根を下ろした学術・文化の基礎を築くための事業計画を実施する。

2. 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	(1) 基礎研究支援、科学・芸術共同作業推進
事業内容	学術・芸術文化の向上を目的にした学際的な基礎研究、技術開発とそのアーティスト。研究者・技術者支援。サイエンスアゴラ出展
実施予定日	平成21年11月
実施予定場所	科学未来館、国際交流会館（台場）
従事者の予定人数	8名
受益対象者の範囲及び予定人数	500～600名（展覧会でのカタログ配布）
支出見込額	500,000円

事業名	(2) 学際協力「ものづくり」技術開発
事業内容	数学曲面モデルの試作、3Dエッシャーモデルの改良。
実施予定日	平成21年4月～平成22年3月
実施予定場所	当事務所、理化学研究所
従事者の予定人数	2名
受益対象者の範囲及び予定人数	不特定多数
支出見込額	50,000円

事業名	(3) 研究成果の市民還元
事業内容	ワークショップとこれにリンクして「ものづくり」の成果の展示を行い、サイエンスアートの概念を広める。
実施予定日	平成21年12月上旬 「サイエンティフィックアートの世界」展および展覧会にリンクしたワークショップ開催。（朝霞）
実施予定場所	朝霞中央公民館ギャラリー
従事者の予定人数	生涯学習成果展覧会・ワークショップ：4名
受益対象者の範囲及び予定人数	展覧会：約200名、ワークショップ：約40名
支出見込額	50,000円

事業名	(4) 「まちづくり」の推進
事業内容	朝霞生涯学習成果発表において制作された作品を使って体験学習、ワークショップ、展覧会を行い、生涯学習の環境を整備する。展覧会は地域で巡回展を行い、ISTA 一朝霞市博物館—東洋大学などと連携して科学と芸術の文化の特色ある「まちづくり」を行う。
実施予定日	ISTA サロン例会：平成21年4月～平成22年2月、 展覧会：平成21年12月上旬2日間
実施予定場所	例会：当事務所、ISTA サロン例会 展覧会：朝霞中央公民館1階ギャラリー
従事者の予定人数	例会：8名、展覧会：7名
受益対象者の範囲及び予定人数	不特定多数
支出見込額	30,000円

事業名	(6) ホームページ、会報編集などの広報
事業内容	科学・芸術文化の総合情報誌 ISTA 会報の創刊。 ISTA ホームページの改良を行う。
実施予定日	平成21年9月、第2巻発刊予定。
実施予定場所	当事務所
従事者の予定人数	10名
受益対象者の範囲及び予定人数	500～600名
支出見込額	100,000円

事業名	(7) 国際協力
事業内容	国内外の研究者、NPO 活動家の招聘などを行い、市民レベルからの学術研究推進し、支援活動を行う。
実施予定日	2年後なので未定、国内で関連国際学会があれば参加する。
実施予定場所	未定
従事者の予定人数	2～3名程度
受益対象者の範囲及び予定人数	未定
支出見込額	0 (他機関の研究費より支給)

事業名	(8) 科学・芸術を組み合わせた体験学習
事業内容	小中校生の体験学習、ワークショップなどを通して、自然の仕組み、自然美を学び、実験、アートワーク造形などのものづくりによって、基礎的な学力、判断力、創造力を養う。
実施予定日	朝霞市博物館：7月または8月、新座児童館：8月および12月 朝霞中央公民館：12月
実施予定場所	新座市児童館、朝霞市博物館、朝霞市中央公民館
従事者の予定人数	朝霞市博物館：5名、新座市児童館：5名、朝霞市中央公民館：5名
受益対象者の範囲及び予定人数	約50名 (朝霞市博物館：20名、新座児童館：15名、朝霞公民館：30名)
支出見込額	50,000円

事業名	(9) (1) から (8) に掲げる活動を行う団体活動場所提供などの 援助
事業内容	市民講座など各種講習会・講演会開催、サイエンスアゴラ、はまぎん こども宇宙科学館の展示・ワークショップ準備、朝霞市博物館夏休み 体験学習教室ワークショップ準備
実施予定日	通年
実施予定場所	ISTA 事務所
従事者の予定人数	延べ人数 6名
受益対象者の範囲及び予定 人数	約50名 ( ISTA 会員、 ISTA サロン講師、市民 )
支出見込額	900,000 円

平成21年度特定非営利活動に係る事業収支予算書  
 平成21年4月1日から平成22年3月31日まで  
 特定非営利活動法人 科学芸術学際研究所 ISTA

科 目	予算額 (右欄は小計)		合 計
I 収入の部			
1 入会金収入			
正会員 (個人)	25,000		
正会員 (団体)	-		
学生会員	-		
		25,000	
2 会費収入			
正会員 (個人)	135,000		
正会員 (団体)	-		
学生会員	-		
賛助会員 (個人)	20,000		
賛助会員 (団体)			
		155,000	
3 事業収入			
特定非営利活動に係る事業			
(1) 基礎研究支援、科学・芸術共同作業推進	-		
(2) 学際協力「ものづくり」技術開発	250,000		
(3) 研究成果の市民還元	40,000		
(4) 「まちづくり」の推進	50,000		
(6) ホームページ、会報編集などの広報	30,000		
(8) 科学・芸術を組み合わせた体験学習	50,000		
		420,000	
4 短期借入金収入	750,000		
		750,000	
5 寄付金収入	1,850,000		
		1,850,000	
6 雑収入	50,000		
		50,000	
当期収入合計 (A)			3,250,000
前期繰越金			495,693
収入合計 (B)			3,745,693

II	支出の部			
1	事業費			
	(1) 学術・芸術文化の向上を目的にした支援活動	500,000		
	(2) 学際協力「ものづくり」技術開発	50,000		
	(3) 研究成果の市民還元	50,000		
	(4) 「まちづくり」の推進	30,000		
	(6) ホームページ、会報編集などの広報	100,000		
	(8) 科学・芸術を組み合わせた体験学習	50,000		
	(9) 前各号に掲げる活動を行う団体活動場所提供などの援助	900,000		
			1,680,000	
2	管理費			
	光熱費	60,000		
	事務人件費	100,000		
	通信費	80,000		
	消耗品費	50,000		
	旅費交通費	150,000		
	会議費	50,000		
			490,000	
3	寄付金			
4	雑費	10,000		
			10,000	
5	外部団体会員費	3,000		
			3,000	
6	予備費	50,000		
			50,000	
7	前年度短期借入金返済	1,000,000		
			1,000,000	
	当期支出合計 (C)			3,233,000
	当期収支差額 (A) - (C)			17,000
	次期繰越金 (B) - (C)			512,693